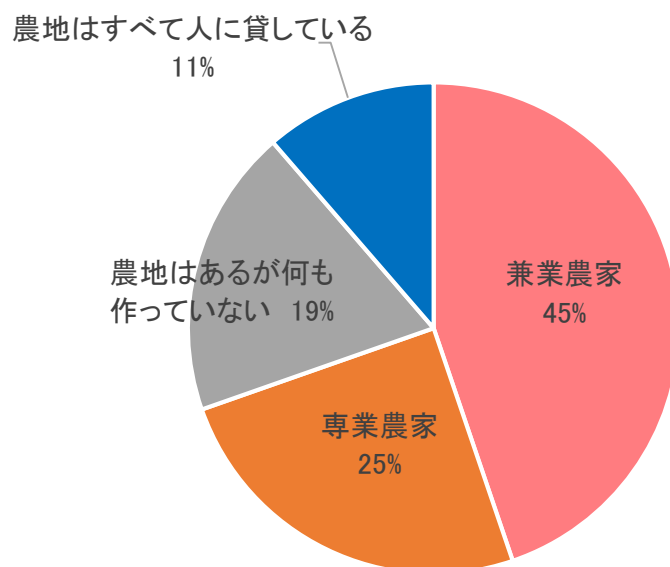


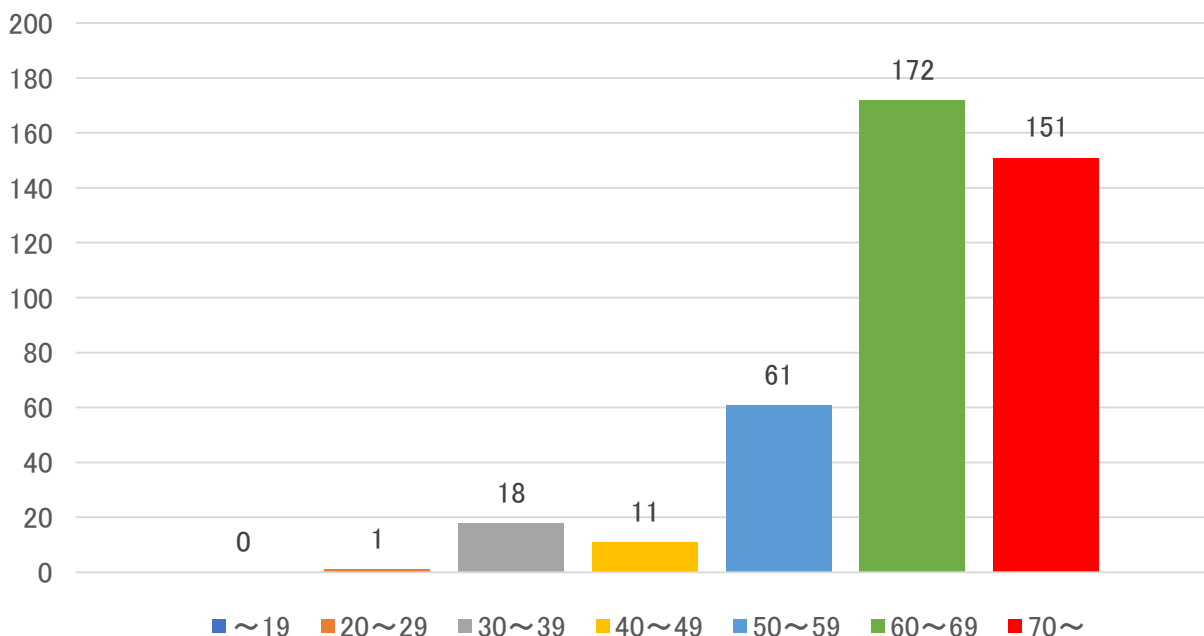
地域農業の将来に関するアンケート結果＜中川地区＞

対象者総数 461 回答者数 326 回答率 70.7%

(1) あなたの農業形態を教えてください。



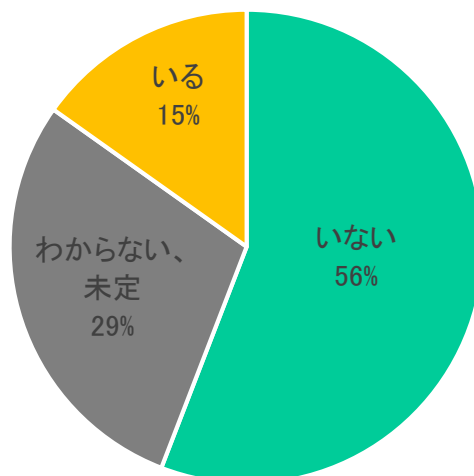
経営者年齢分布図(単位:人)



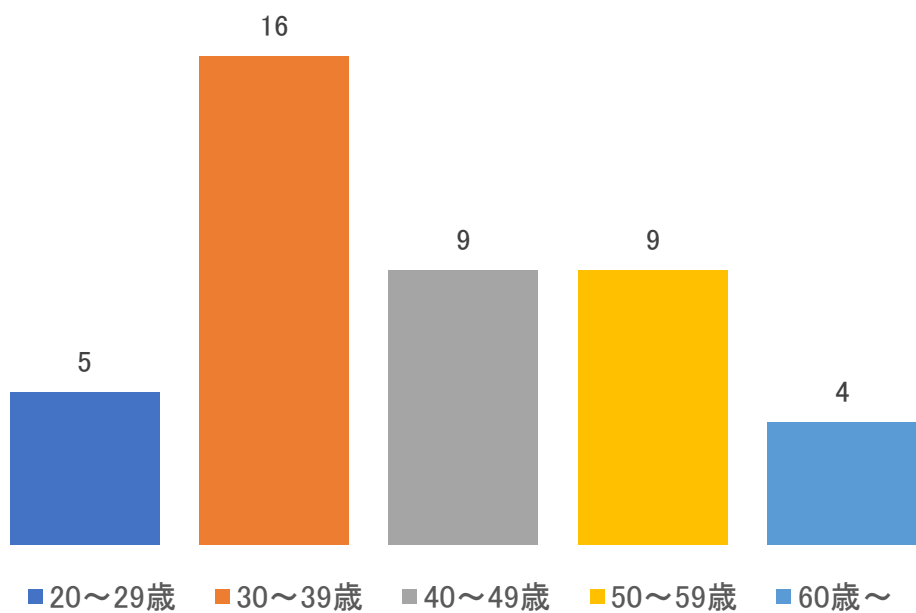
※経営者年齢は農家台帳システムおよびアンケート回答から集計した。

経営者の年齢を分布図で見ると、60代以上とそれ以下の経営者の人数に大きな開きがあるが、30代～50代の若手経営者数も比較的多くいることがわかる。全体の平均年齢は66.4歳。

(2) あなたの農業の引き継ぎ手はいますか。

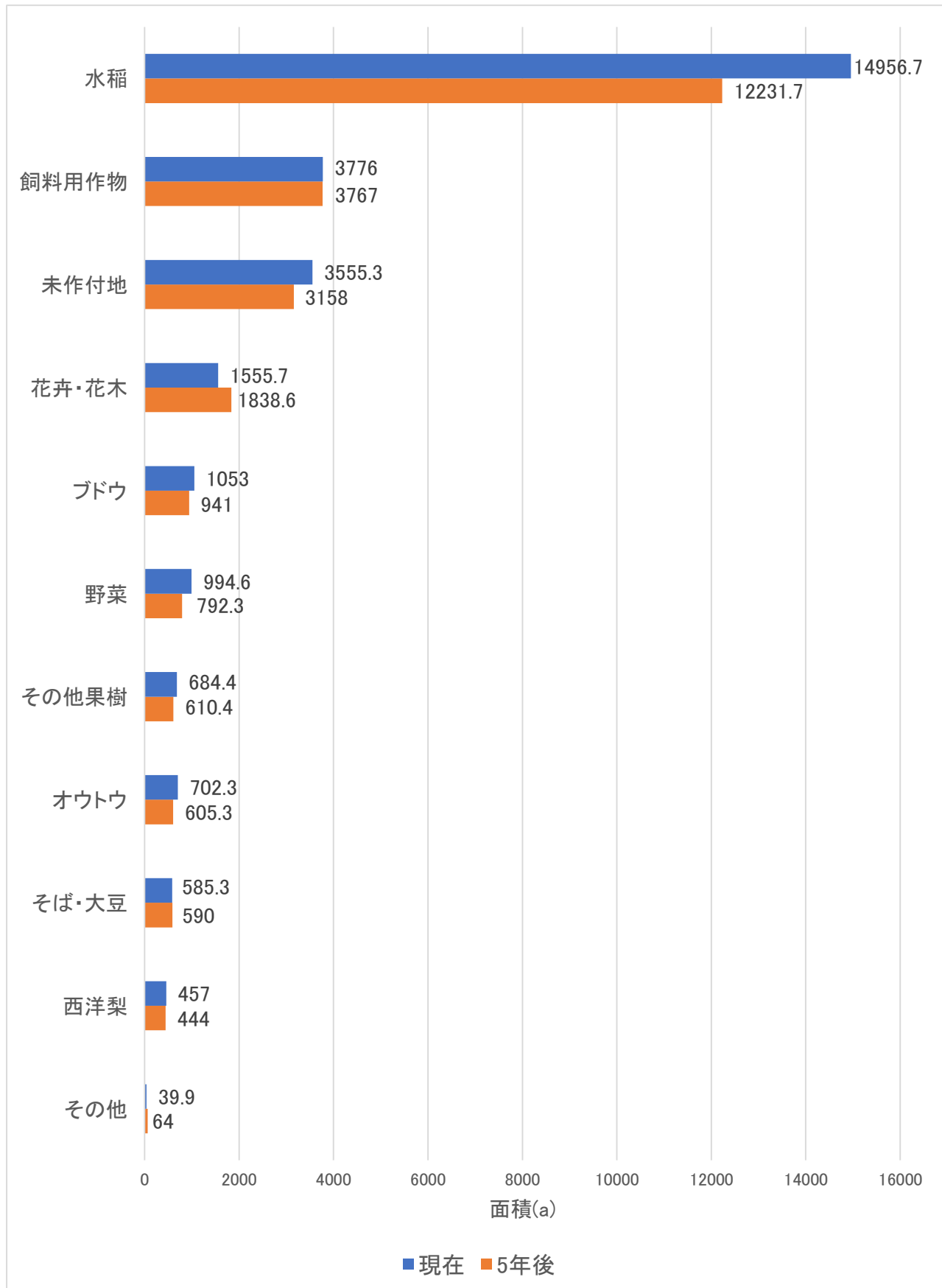


(2) 後継者年齢分布図(単位:人)



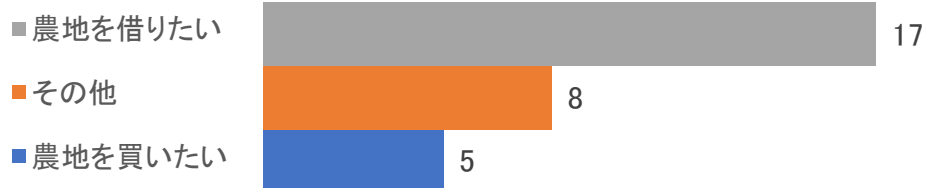
後継者がいると答えた人は全体の 15%にとどまったものの、その年齢を分布図で見ると 30 歳～39 歳の若年層が最も多く、全体の平均は 41.7 歳。

(3) あなたの現在と将来の農業構成を教えてください。(グラフ数値は地区全体の合計面積(a))



水稲は、現状から 18%減る見込み。花卉・花木で拡大意向があるものの、地区全体では 11.8% (2920.7a) の経営農地が減る見込み。

(4) (規模拡大したい方へ) 規模拡大の方法はどのようにお考えですか。(複数回答可。単位:人)

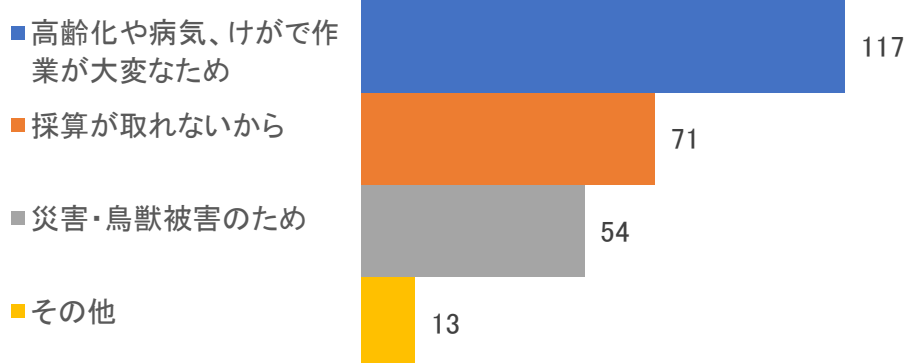


その他記載欄…

「父の経営を継承」

「条件の悪い水田を活用」

(5) ①(栽培をやめたい、縮小したい方へ) 理由は何ですか。(複数回答可。単位:人)



その他記載欄…

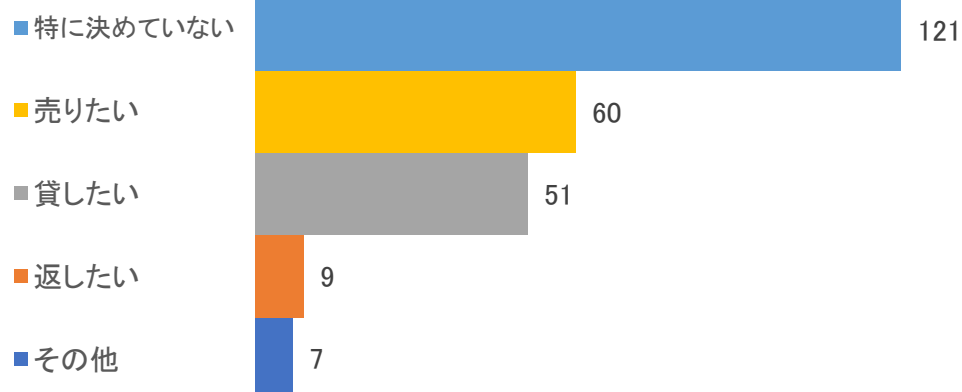
「作目を縮小して、拡大したい方に力を入れたいから」

「水利の悪さ」

「引き継ぎ手が決まっていないため」

「自家用で将来は家族人数減少するから」

(5) ②(栽培をやめたい、縮小したい方へ) 栽培をやめた、あるいは規模を縮小したあと、農地はどうしたいですか。(複数回答可。単位:人)



その他記載欄…

「違う作目に転作」

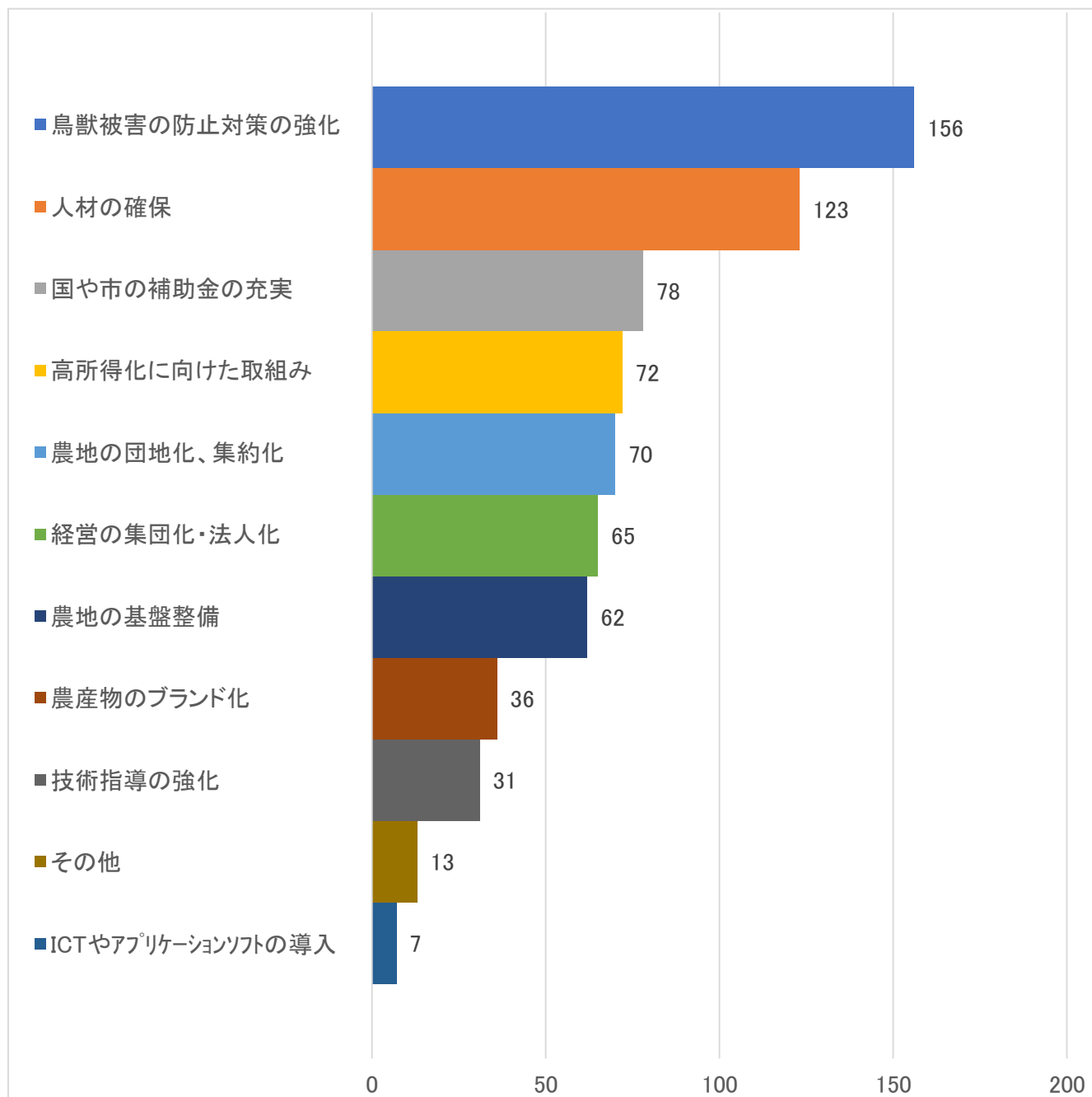
「山に戻す」

「自給自足の野菜づくり」

「放棄するしかないかもしれない」

規模拡大の意向がある人のうち、農地を借りたい人と答えた人が多かったのに対し、栽培をやめた後の農地については、「特に決めていない」が回答の5割近くを占める。

(6) 今後の地域農業のために、何が必要だと思いますか。(複数回答可。単位:人)



※その他記載欄…「経費をかけない」「意欲、将来の食料不足に備える」

「直売所等、個人販売できる施設をつくる」「耕作不適地を山に戻す」

「〇〇(地区名)に住んでよかった、これから住んでみたいと思える地域の活性」

「基盤整備でも法面はなくなり、草刈りが大変」

「集団で耕作放棄地を管理していくしかないと思う」「後継者の育成」

「販売の仕方(産直等)、技術指導者が実質的にいない(指導出来る者が)」

「電子メールの活用」

鳥獣被害対策や人材確保の必要性を感じている人が多い。続いて補助金の充実、高所得化に向けた取組み、農地や経営の集約、基盤整備も高い割合を占める。